資料編

1 計画策定の経緯

（1）計画策定の経緯

年月日	実施内容
2024 年 8 月 9 日	第 1 回善通寺市環境審議会
2024 年 8 月 24 日～9 月 30 日	市民・事業者アンケート調査実施
2025 年 1 月 9 日	第 2 回善通寺市環境審議会
2025 年 1 月 29 日～2 月 28 日	パブリックコメント
2025 年 3 月 18 日	第 3 回善通寺市環境審議会

（2）善通寺市環境審議会委員

役職	氏名	選出区分	備考
会長	井 上　　修	知識経験者	香川県環境アドバイザー
副会長	杉 本　孝 作	知識経験者	善通寺市教育委員 元四国学院大学副学長
委員	間 島　いずみ	知識経験者	子育てネットくすくす副理事長
委員	川 村　隆 亮	公共的団体の代表者	善通寺市環境推進連合会会長
委員	丸 岡　敬 治 ※1	公共的団体の代表者	ボランティア善通寺環境まちづくりの会
委員	山 尾　　均 ※2	公共的団体の代表者	ボランティア善通寺環境まちづくりの会
委員	御手洗　和代 ※1	知識経験者	和（nico）代表
委員	渡 邊　公 照 ※2	知識経験者	元善通寺市職員

※1：2024 年 9 月 30 日まで
※2：2024 年 10 月 1 日から

2 市民アンケート調査

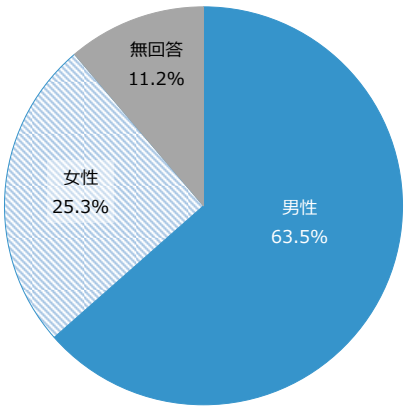
（1）調査概要

■調査期間	：	2024 年 8 月 24 日～2024 年 9 月 30 日（締め切り日以降の期間を含む）
■調査対象	：	市内に在住する 18 歳以上の市民
■抽出方法	：	住民基本台帳から無作為抽出
■調査方法	：	郵送による配布・回収、Web
■配布数	：	1,200 通
■回収結果	：	有効回収数：526 通（内 Web 74 件）（有効回収率：43.8%）

（2）調査結果

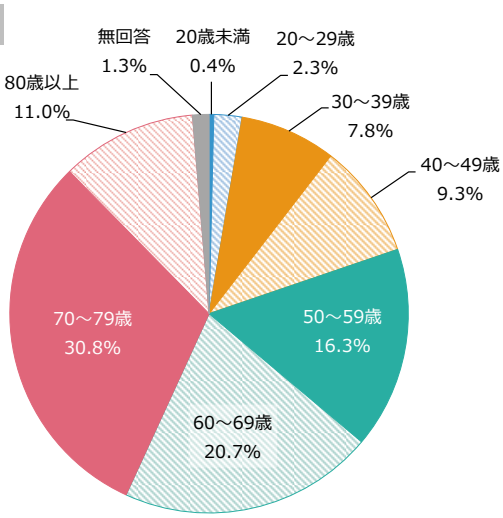
問 1 あなた自身のことについてお聞きします。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

■性別



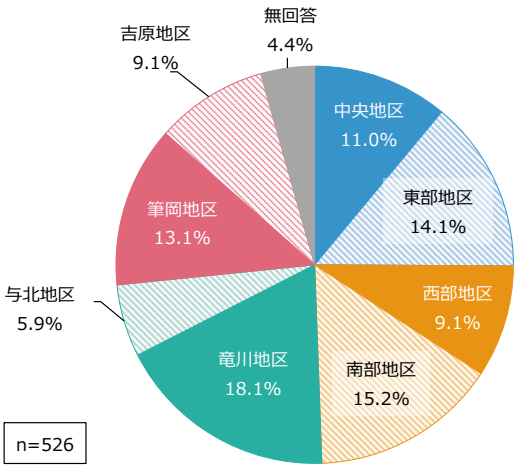
n=526

■年齢



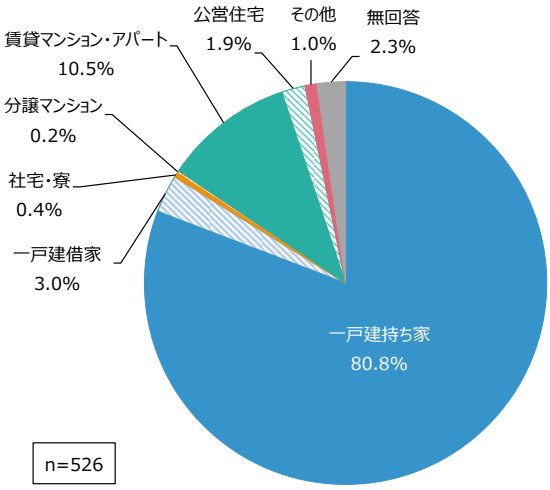
n=526

■居住地区



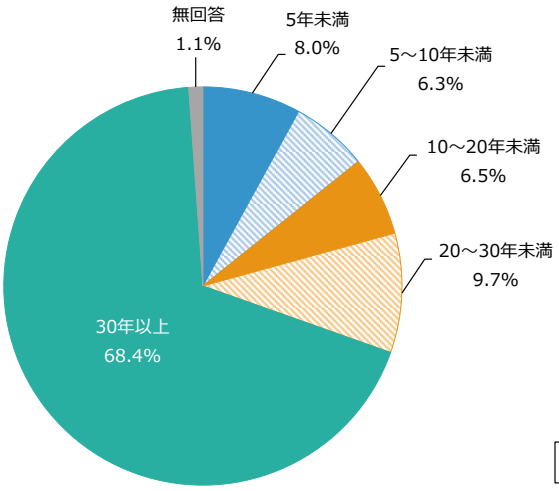
n=526

■住宅形態



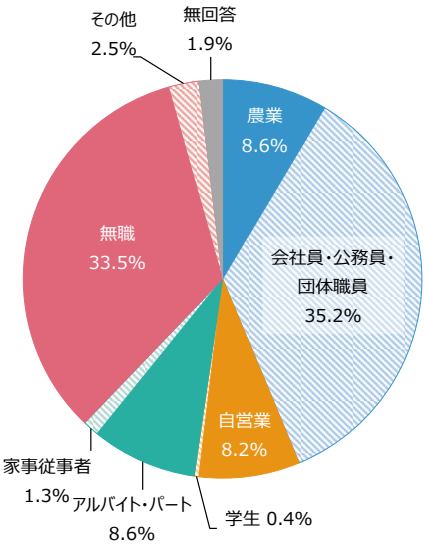
n=526

■居住年数



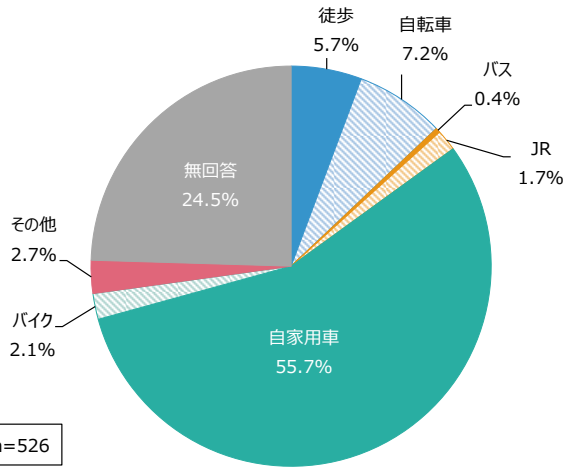
n=526

■職業



n=526

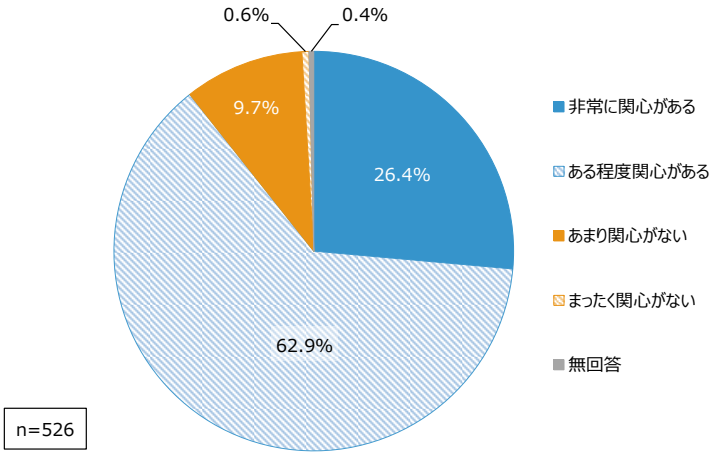
■通勤・通学の主な交通手段



n=526

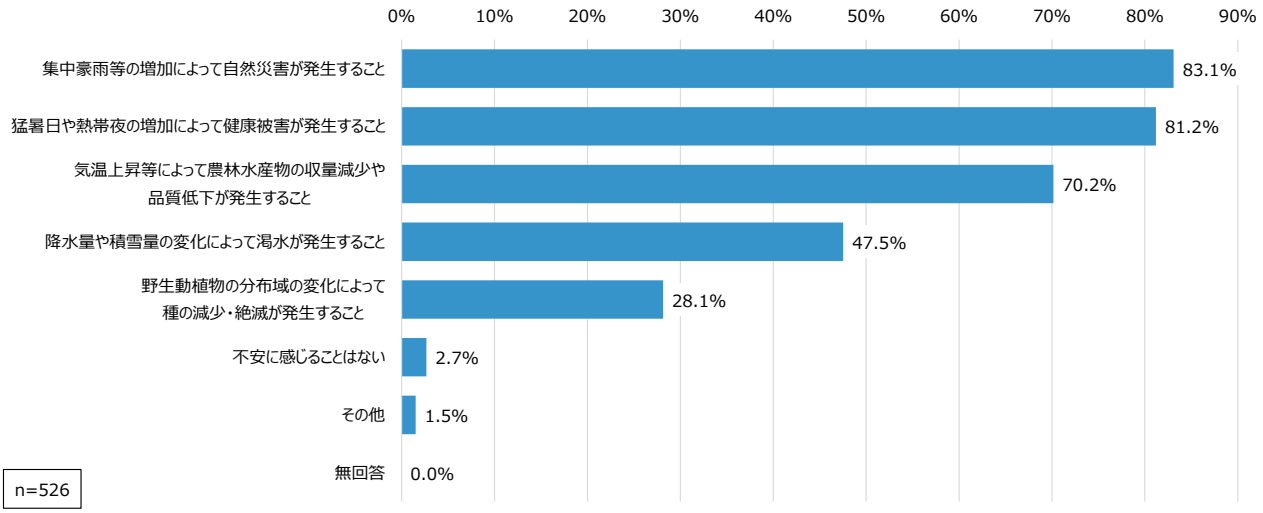
問 2	あなたは、地球温暖化問題に関心がありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化問題への関心度については、「ある程度関心がある」が 62.9%で最も多く、次いで「非常に関心がある」が 26.4%、「あまり関心がない」が 9.7%などとなっている。



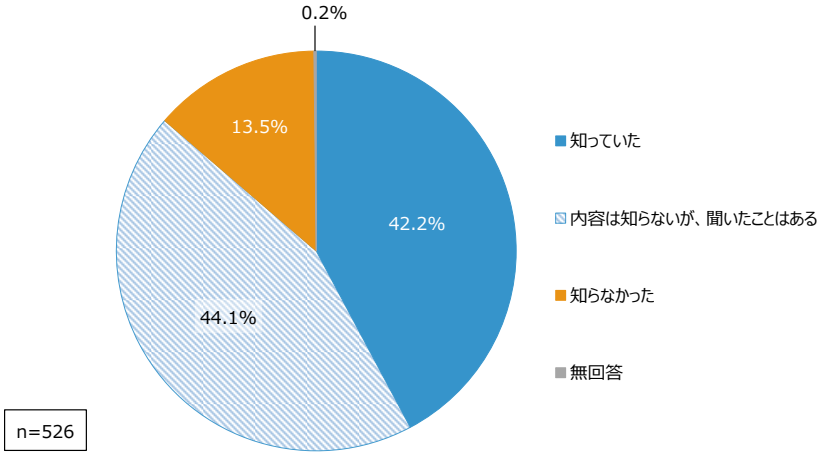
問 3	あなたは、地球温暖化の影響について不安に感じることがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

地球温暖化の影響による不安については、「集中豪雨等の増加によって自然災害が発生すること」が 83.1%で最も多く、次いで「猛暑日や熱帯夜の増加によって健康被害が発生すること」が 81.2%、「気温上昇等によって農林水産物の収量減少や品質低下が発生すること」が 70.2%などとなっている。



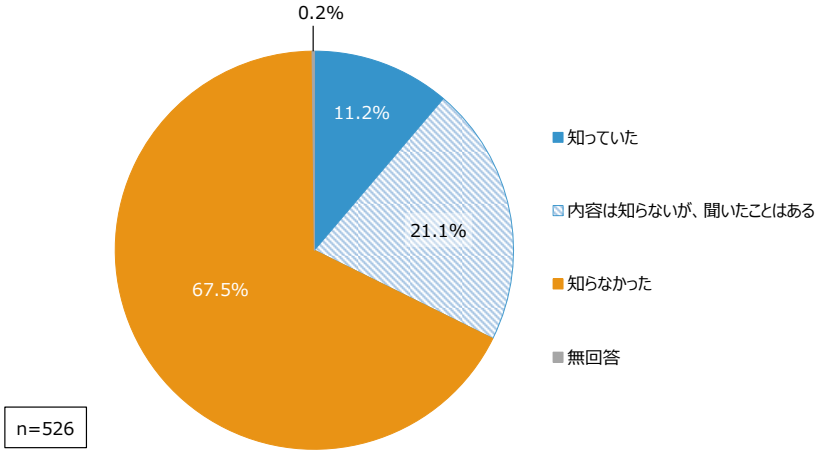
問 4	二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林等による吸収量を差し引いて実質ゼロにすることを「カーボンニュートラル」といいます。あなたは、「カーボンニュートラル」という言葉を知っていましたか。（あてはまる番号１つに○）

「カーボンニュートラル」という言葉の認知度については、「内容は知らないが、聞いたことはある」が 44.1%で最も多く、次いで「知っていた」が 42.2%、「知らなかった」が 13.5%となっている。



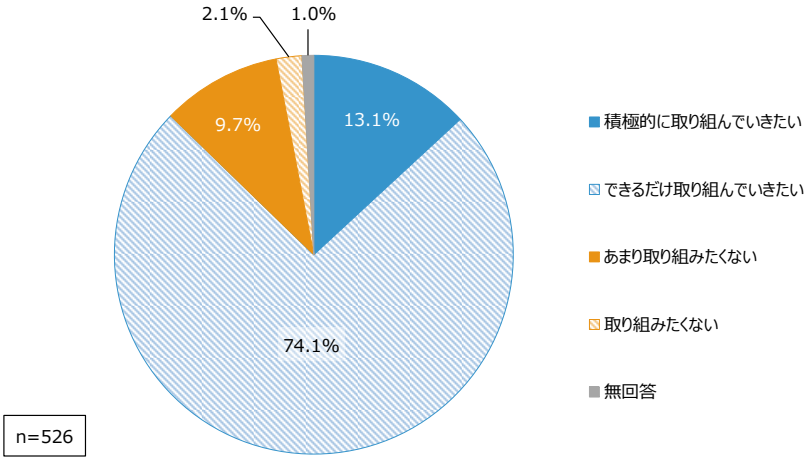
問 5	2050 年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを表明した地方自治体のことを「ゼロカーボンシティ」といいます。善通寺市においても、令和 2 年 9 月に、「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。あなたは、善通寺市が「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策を推進していることを知っていましたか。（あてはまる番号１つに○）

善通寺市が「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策を推進していることに対する認知度については、「知らなかった」が 67.5%で最も多く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」が 21.1%、「知っていた」が 11.2%となっている。



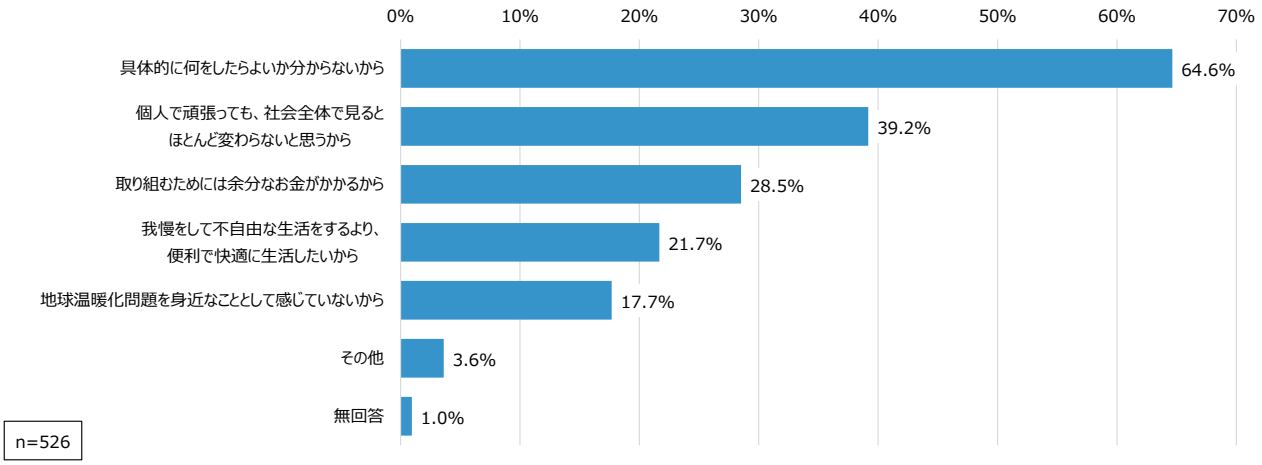
問 6	あなたは、カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化対策にどの程度取り組んでいきたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化対策への取組意欲については、「できるだけ取り組んでいきたい」が 74.1%で最も多く、次いで「積極的に取り組んでいきたい」が 13.1%、「あまり取り組みたくない」が 9.7%などとなっている。



問 7	あなたは、市民が地球温暖化対策に取り組みにくい、または取り組まない要因として何があると思いますか。（あてはまる番号 2 つまで○）

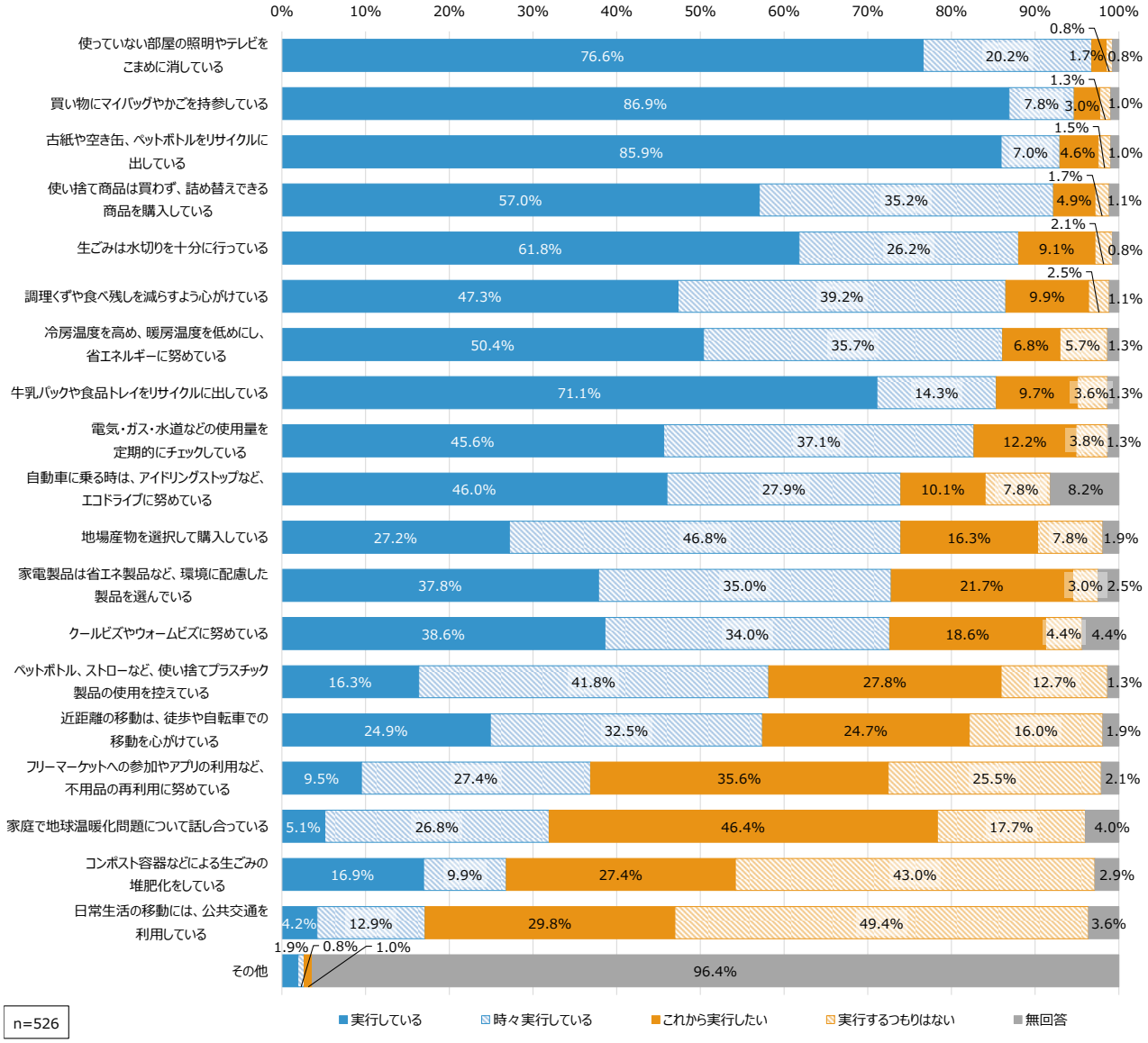
地球温暖化対策に取り組みにくい、または取り組まない要因については、「具体的に何をしたらよいか分からないから」が 64.6%で最も多く、次いで「個人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」が 39.2%、「取り組むためには余分なお金がかかるから」が 28.5%などとなっている。



問 8	あなたのご家庭では、地球温暖化対策を日頃どの程度実行していますか。（各項目あてはまる番号１つに○）

地球温暖化対策の取組状況については、「実行している」及び「時々実行している」と回答された取組は、「使っていない部屋の照明やテレビをこまめに消している」が 96.8%で最も多く、次いで「買い物にマイバッグやかごを持参している」が 94.7%、「古紙や空き缶、ペットボトルをリサイクルに出している」が 92.9%などとなっている。

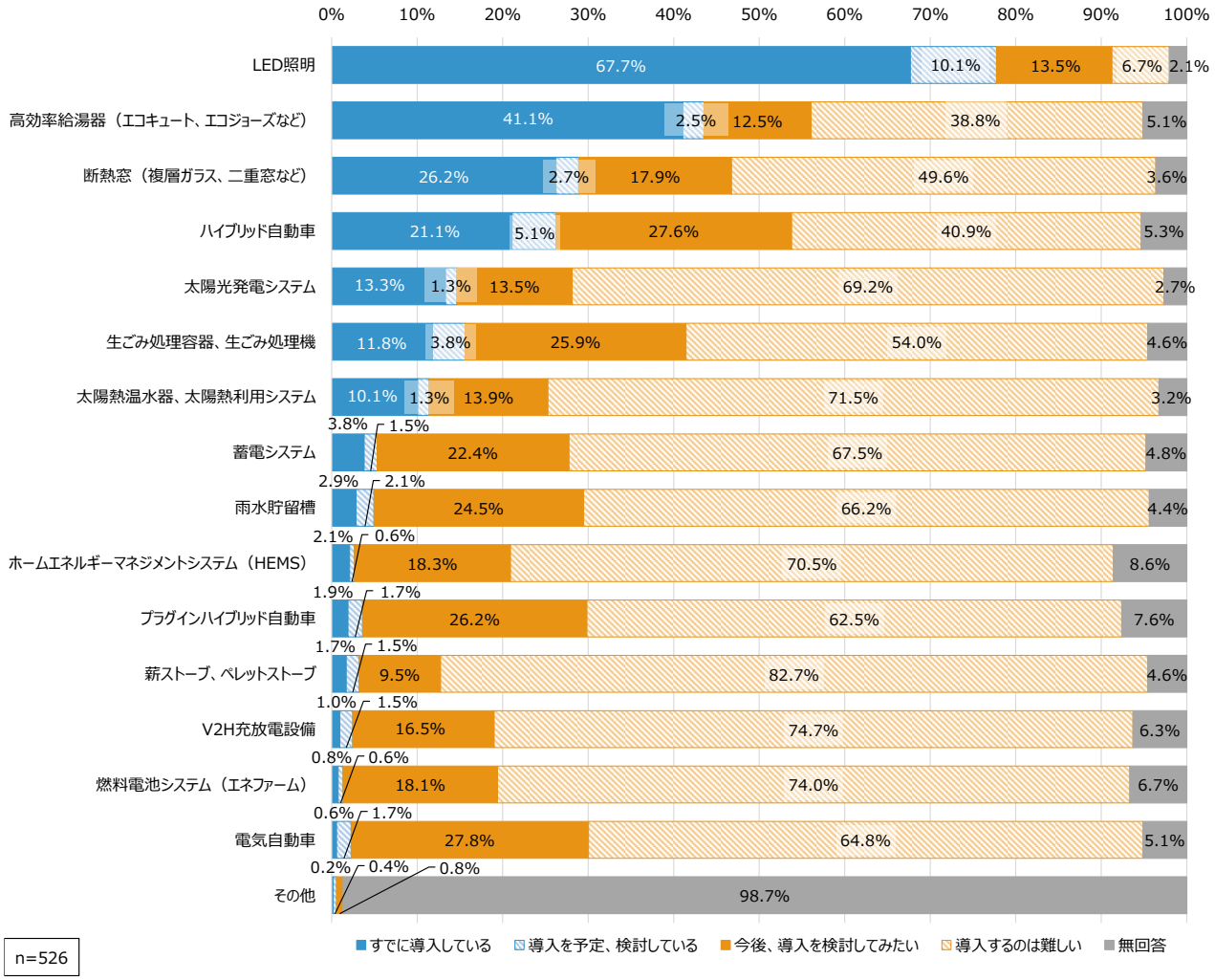
一方、「実行するつもりはない」と回答された取組は、「日常生活の移動には、公共交通を利用している」が 49.4%で最も多く、次いで「コンポスト容器などによる生ごみの堆肥化をしている」が 43.0%、「フリーマーケットへの参加やアプリの利用など、不用品の再利用に努めている」が 25.5%などとなっている。



問 9	あなたのご家庭では、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備などを導入していますか。（各項目あてはまる番号１つに○）

再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備などの導入状況については、「すでに導入している」と回答されたのは、「LED 照明」が 67.7%で最も多く、次いで「高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）」が 41.1%、「断熱窓（複層ガラス、二重窓など）」が 26.2%などとなっている。

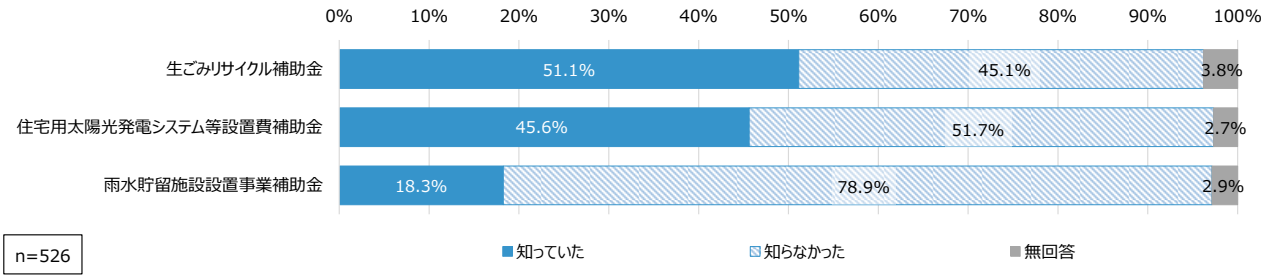
また、「今後、導入を検討してみたい」と回答されたのは「電気自動車」が 27.8%で最も多く、次いで「ハイブリッド自動車」が 27.6%、「プラグインハイブリッド自動車」が 26.2%などとなっている。



問 10	善通寺市では、地球温暖化対策に関する設備の導入に対する補助を行っていますが、あなたは知っていましたか。また、活用したことはありますか。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

■認知度

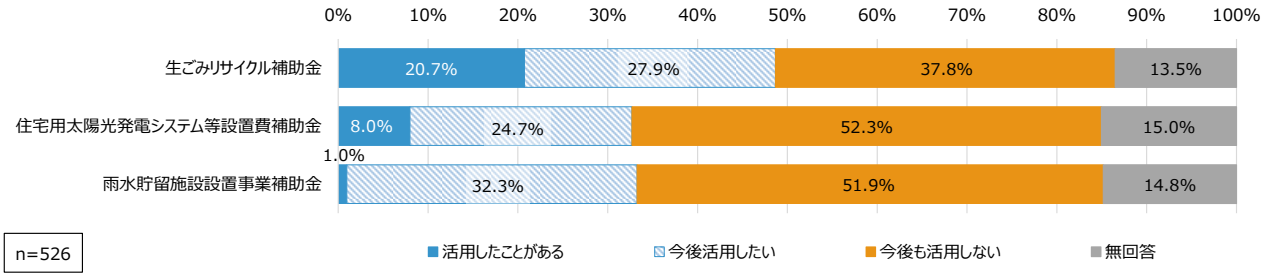
補助金の認知度については、「知っていた」と回答されたのは、「生ごみリサイクル補助金」が 51.1%で最も多く、次いで「住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」が 45.6%、「雨水貯留施設設置事業補助金」が 18.3%となっている。



■活用状況

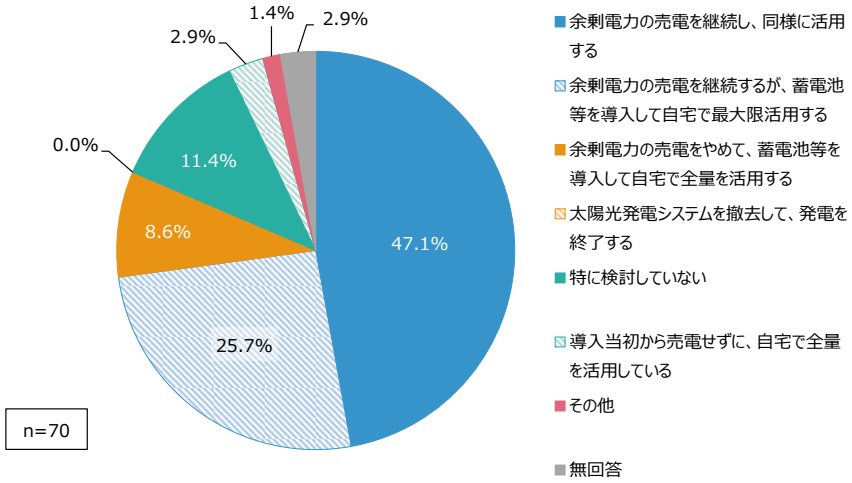
補助金の活用状況については、「活用したことがある」と回答されたのは、「生ごみリサイクル補助金」が 20.7%で最も多く、次いで「住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」が 8.0%、「雨水貯留施設設置事業補助金」が 1.0%となっている。

また、「今後活用したい」と回答されたのは、「雨水貯留施設設置事業補助金」が 32.3%で最も多く、次いで「生ごみリサイクル補助金」が 27.9%、「住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」が 24.7%となっている。



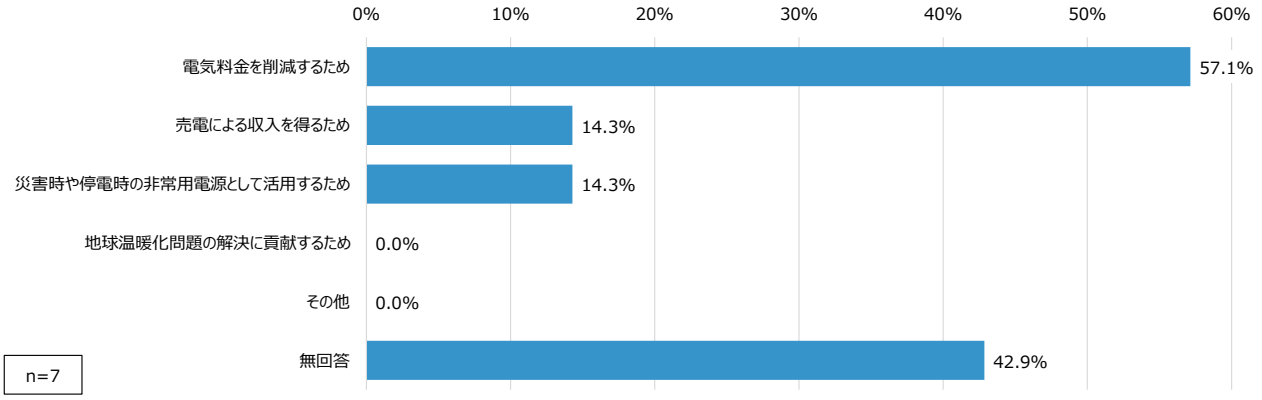
問 11	※問 9 で「太陽光発電システム」を「すでに導入している」と回答した方のみ 固定価格買取制度（FIT）の買取期間が終了した後、発電した電気をどのように活用されている、または活用される予定ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

固定価格買取制度（FIT）の買取期間終了後の電気の活用については、「余剰電力の売電を継続し、同様に活用する」が 47.1%で最も多く、次いで「余剰電力の売電を継続するが、蓄電池等を導入して自宅で最大限活用する」が 25.7%、「特に検討していない」が 11.4%などとなっている。



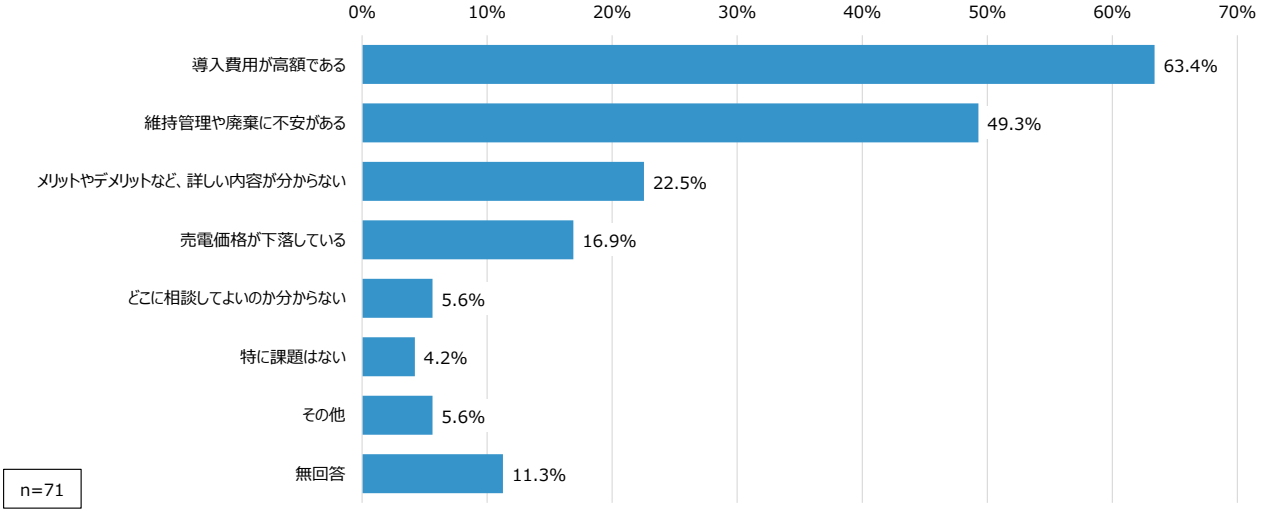
問 12	※問 9 で「太陽光発電システム」を「導入を予定、検討している」と回答した方のみ 導入を予定、検討されている理由は何ですか。（あてはまる番号 2 つまで○）

太陽光発電システムの導入を予定、検討している理由については、「電気料金を削減するため」が 57.1%で最も多く、次いで「売電による収入を得るため」及び「災害時や停電時の非常用電源として活用するため」が 14.3%などとなっており、「地球温暖化問題の解決に貢献するため」との回答はなかった。



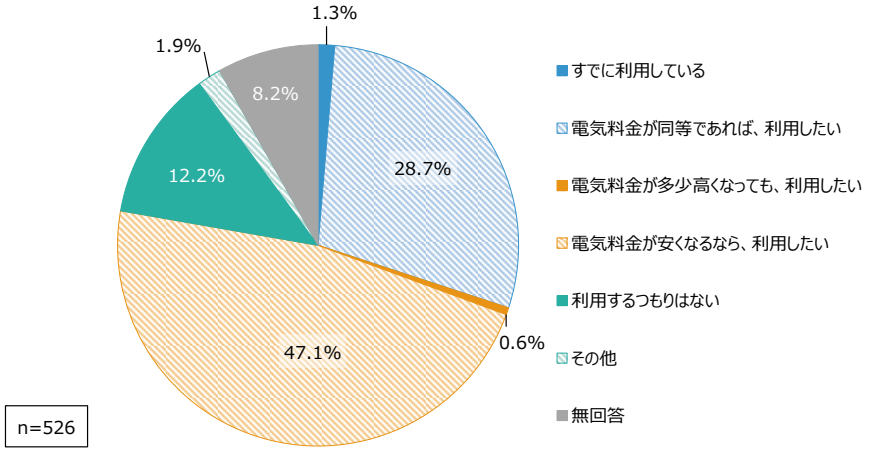
問 13	※問 9 で「太陽光発電システム」を「今後、導入を検討してみたい」と回答した方のみ 導入するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号 2 つまで○）

太陽光発電システムの導入における課題については、「導入費用が高額である」が 63.4%で最も多く、次いで「維持管理や廃棄に不安がある」が 49.3%、「メリットやデメリットなど、詳しい内容が分からない」が 22.5%などとなっている。



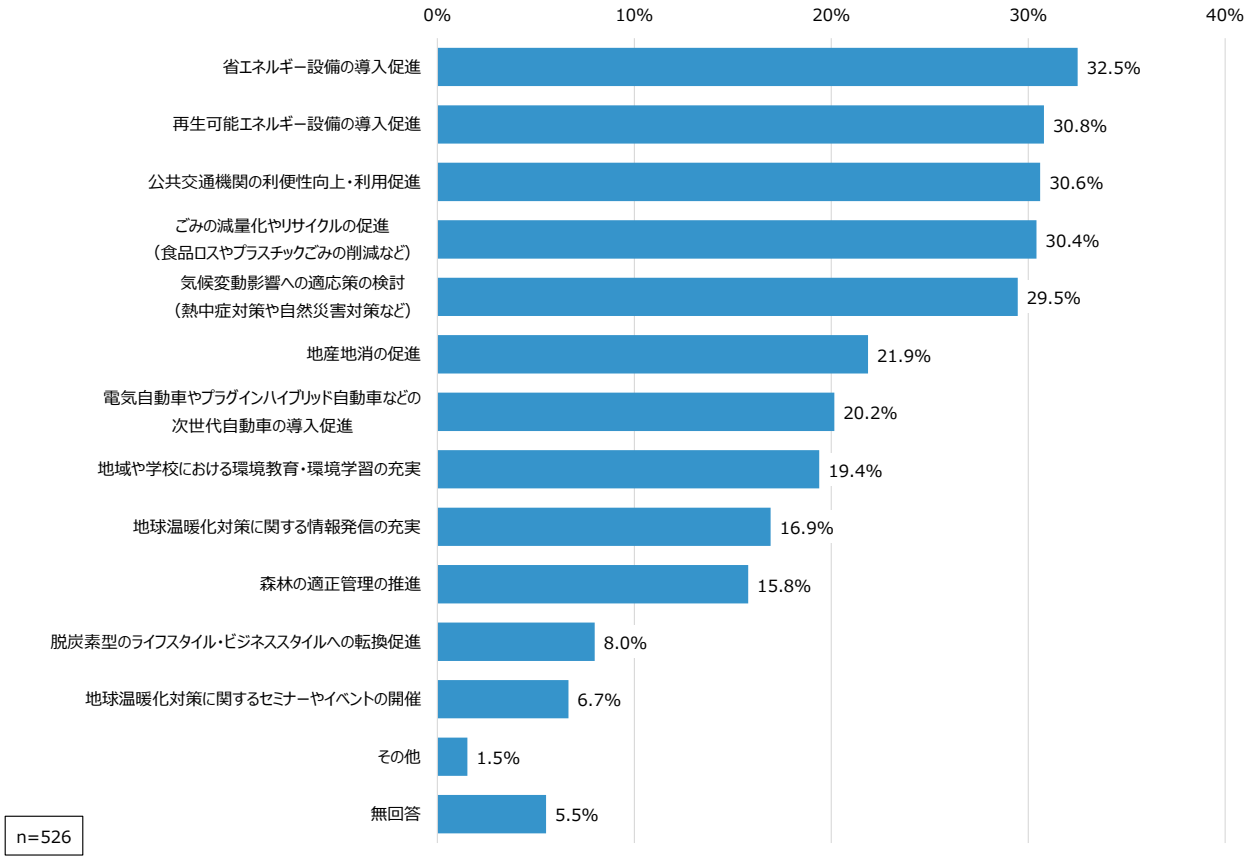
問 14	現在、一部の電力会社では、再生可能エネルギーによって作られた二酸化炭素排出ゼロの電力を供給するメニューが用意されています。こういった再生可能エネルギー由来の電力を利用することで、再生可能エネルギー設備を導入しなくても、地球温暖化問題の解決に貢献することができます。あなたは、再生可能エネルギー由来の電力を利用したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

再生可能エネルギー由来の電力の利用意向については、「電気料金が安くなるなら、利用したい」が 47.1%で最も多く、次いで「電気料金が同等であれば、利用したい」が 28.7%、「利用するつもりはない」が 12.2%などとなっている。



問 15	あなたは、今後、善通寺市がカーボンニュートラルの実現に向けて、どのような地球温暖化対策を推進していくべきだと思いますか。（あてはまる番号 3 つまで○）

善通寺市が推進していくべき地球温暖化対策については、「省エネルギー設備の導入促進」が 32.5%で最も多く、次いで「再生可能エネルギー設備の導入促進」が 30.8%、「公共交通機関の利便性向上・利用促進」が 30.6%などとなっている。



3 事業者アンケート調査

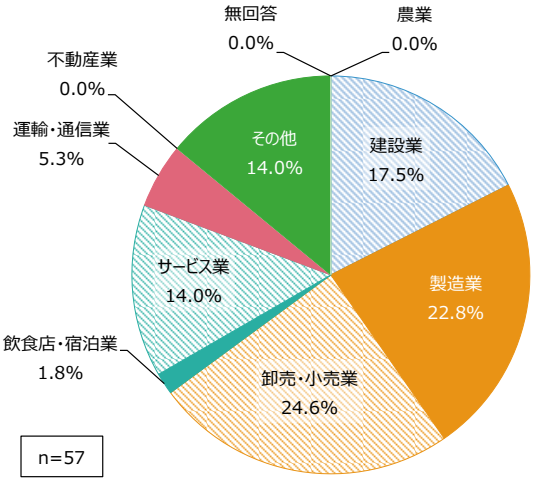
（1）調査概要

■調査期間	：	2024 年 8 月 24 日～2024 年 9 月 30 日（締め切り日以降の期間を含む）
■調査対象	：	市内で事業活動を行っている事業者
■抽出方法	：	善通寺商工会議所登録事業者から無作為抽出等
■調査方法	：	郵送による配布・回収、Web
■配布数	：	100 通
■回収結果	：	有効回収数：57 通（内 Web 8 件）（有効回収率：57.0%）

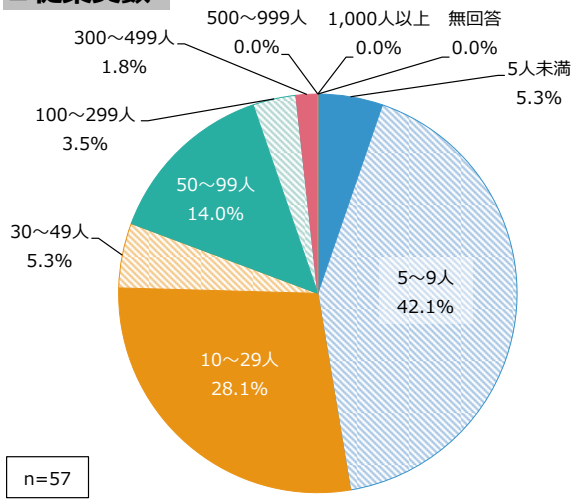
（2）調査結果

問 1 貴事業所のことについてお聞きします。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

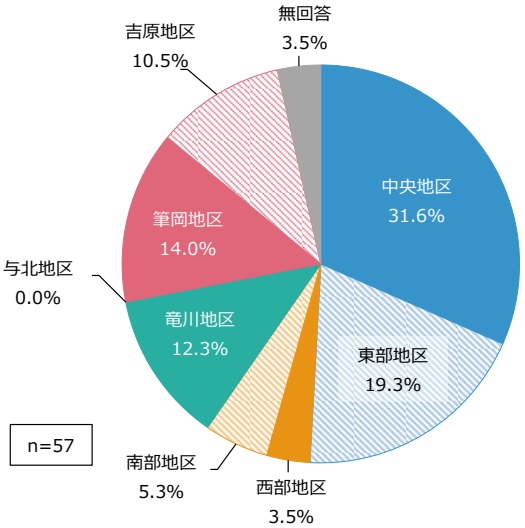
■業種



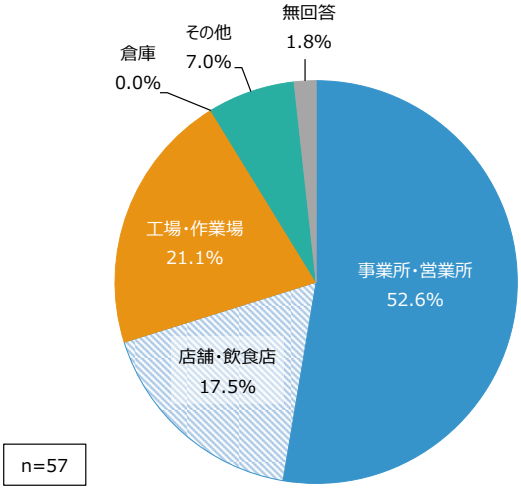
■従業員数



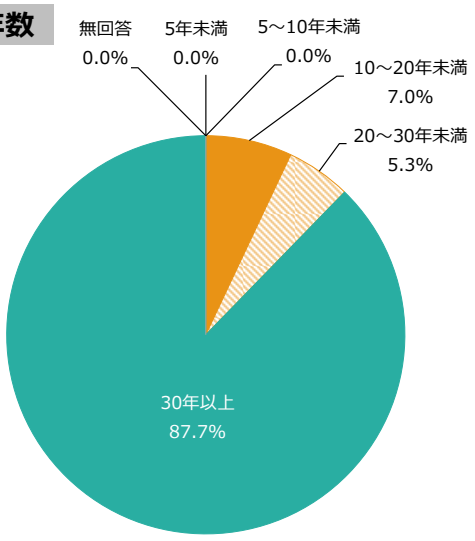
■所在地区



■事業所形態



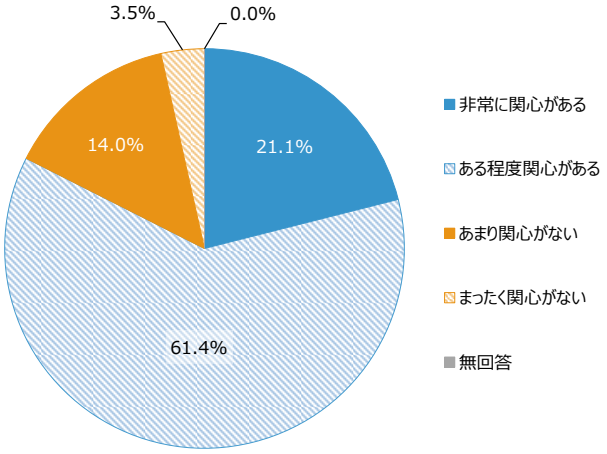
■事業年数



n=57

問２	貴事業所では、地球温暖化問題に関心がありますか。（あてはまる番号１つに○）

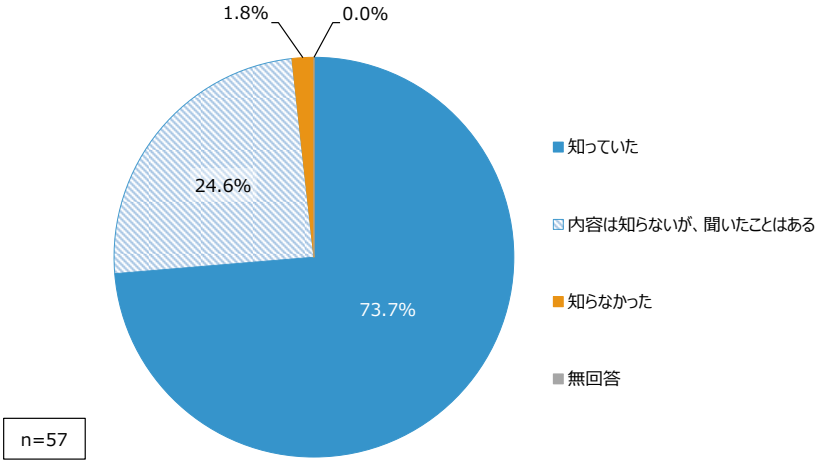
地球温暖化問題への関心度については、「ある程度関心がある」が 61.4%で最も多く、次いで「非常に関心がある」が 21.1%、「あまり関心がない」が 14.0%などとなっている。



n=57

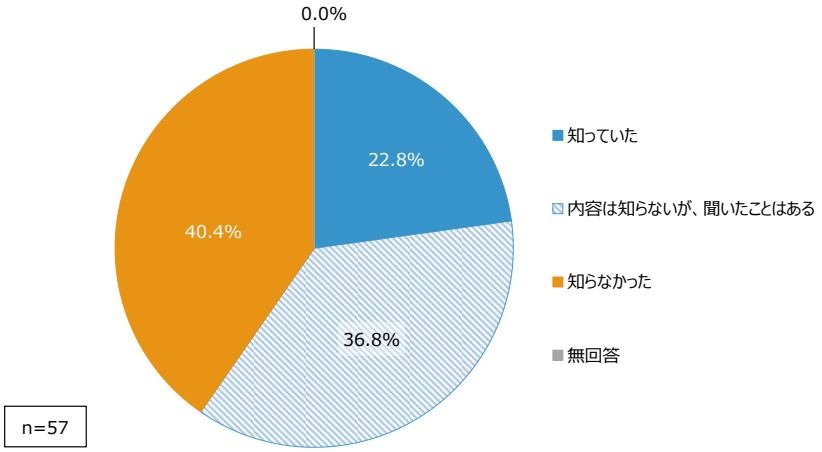
問 3	二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林等による吸収量を差し引いて実質ゼロにすることを「カーボンニュートラル」といいます。貴事業所は、「カーボンニュートラル」という言葉を知っていましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

「カーボンニュートラル」という言葉の認知度については、「知っていた」が 73.7%で最も多く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」が 24.6%、「知らなかった」が 1.8%となっている。



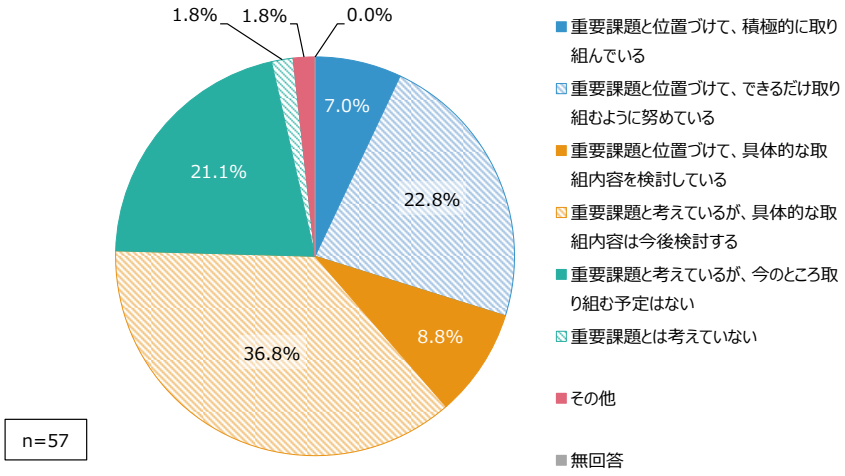
問 4	2050 年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを表明した地方自治体のことを「ゼロカーボンシティ」といいます。善通寺市においても、令和 2 年 9 月に、「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。貴事業所は、善通寺市が「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策を推進していることを知っていましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

善通寺市が「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策を推進していることに対する認知度については、「知らなかった」が 40.4%で最も多く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」が 36.8%、「知っていた」が 22.8%となっている。



問 5	カーボンニュートラルを実現するためには、市民や事業者、行政が連携・協働して、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策の推進など、地球温暖化対策により一層取り組んでいく必要があります。貴事業所は、カーボンニュートラルの実現に向けた地球温暖化対策をどのように位置づけていますか。（あてはまる番号１つに○）

地球温暖化対策の位置づけについては、「重要課題と考えているが、具体的な取組内容は今後検討する」が 36.8%で最も多く、次いで「重要課題と位置づけて、できるだけ取り組むように努めている」が 22.8%、「重要課題と考えているが、今のところ取り組む予定はない」が 21.1%などとなっている。

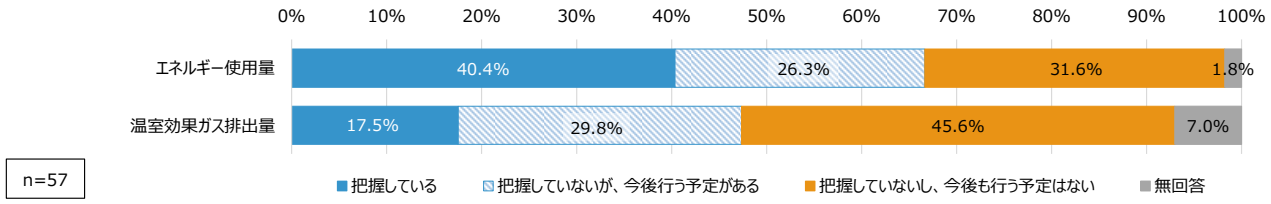


問 6	貴事業所では、事業活動に伴うエネルギー使用量や温室効果ガス排出量を把握していますか。また、それらの削減に関する目標を設定していますか。（各項目あてはまる番号１つに○）

■把握状況

エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握状況については、「把握している」と回答されたのは、「エネルギー使用量」が 40.4%、「温室効果ガス排出量」が 17.5%となっている。

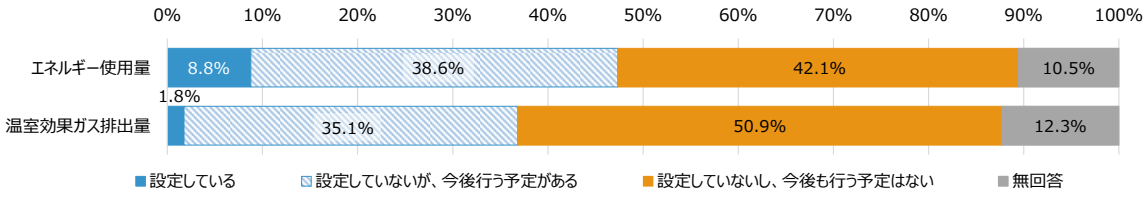
また、「把握していないし、今後も行う予定はない」と回答されたのは、「エネルギー使用量」が 31.6%、「温室効果ガス排出量」が 45.6%となっている。



■削減目標設定状況

エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減目標設定状況については、「設定している」と回答されたのは、「エネルギー使用量」が 8.8%、「温室効果ガス排出量」が 1.8%となっている。

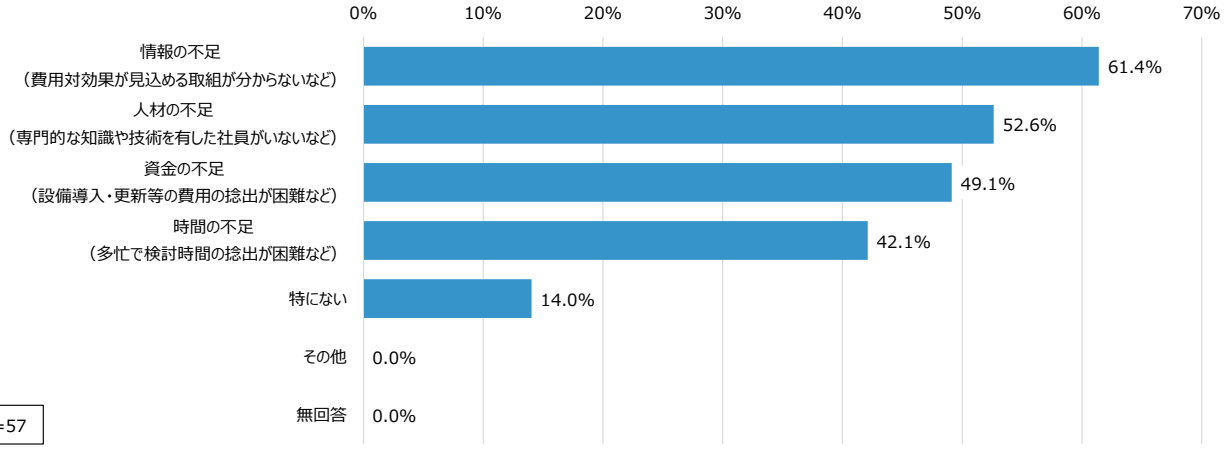
また、「設定していないし、今後も行う予定はない」と回答されたのは、「エネルギー使用量」が 42.1%、「温室効果ガス排出量」が 50.9%となっている。



n=57

問 7	貴事業所では、地球温暖化対策に取り組む上で、どのようなことが課題になっていますか。（あてはまる番号すべてに○）

地球温暖化対策に取り組む上での課題については、「情報の不足（費用対効果が見込める取組が分からないなど）」が 61.4%で最も多く、次いで「人材の不足（専門的な知識や技術を有した社員がいないなど）」が 52.6%、「資金の不足（設備導入・更新等の費用の捻出が困難など）」が 49.1%などとなっている。

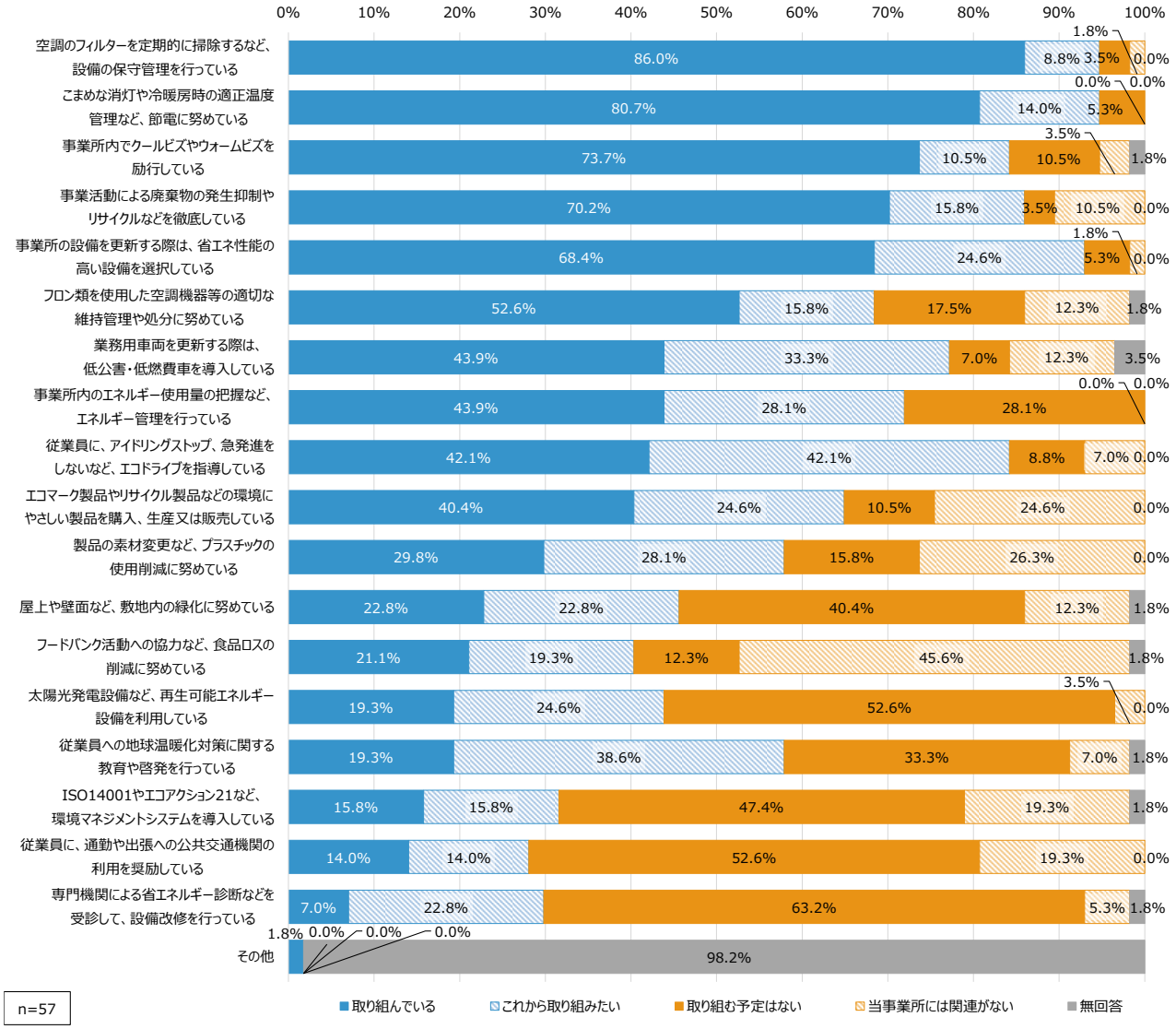


n=57

問 8	貴事業所では、地球温暖化対策に日頃どの程度取り組んでいますか。（各項目あてはまる番号１つに○）

地球温暖化対策の取組状況については、「取り組んでいる」と回答された取組は、「空調のフィルターを定期的に掃除するなど、設備の保守管理を行っている」が 86.0%で最も多く、次いで「こまめな消灯や冷暖房時の適正温度管理など、節電に努めている」が 80.7%、「事業所内でクールビズやウォームビズを励行している」が 73.7%などとなっている。

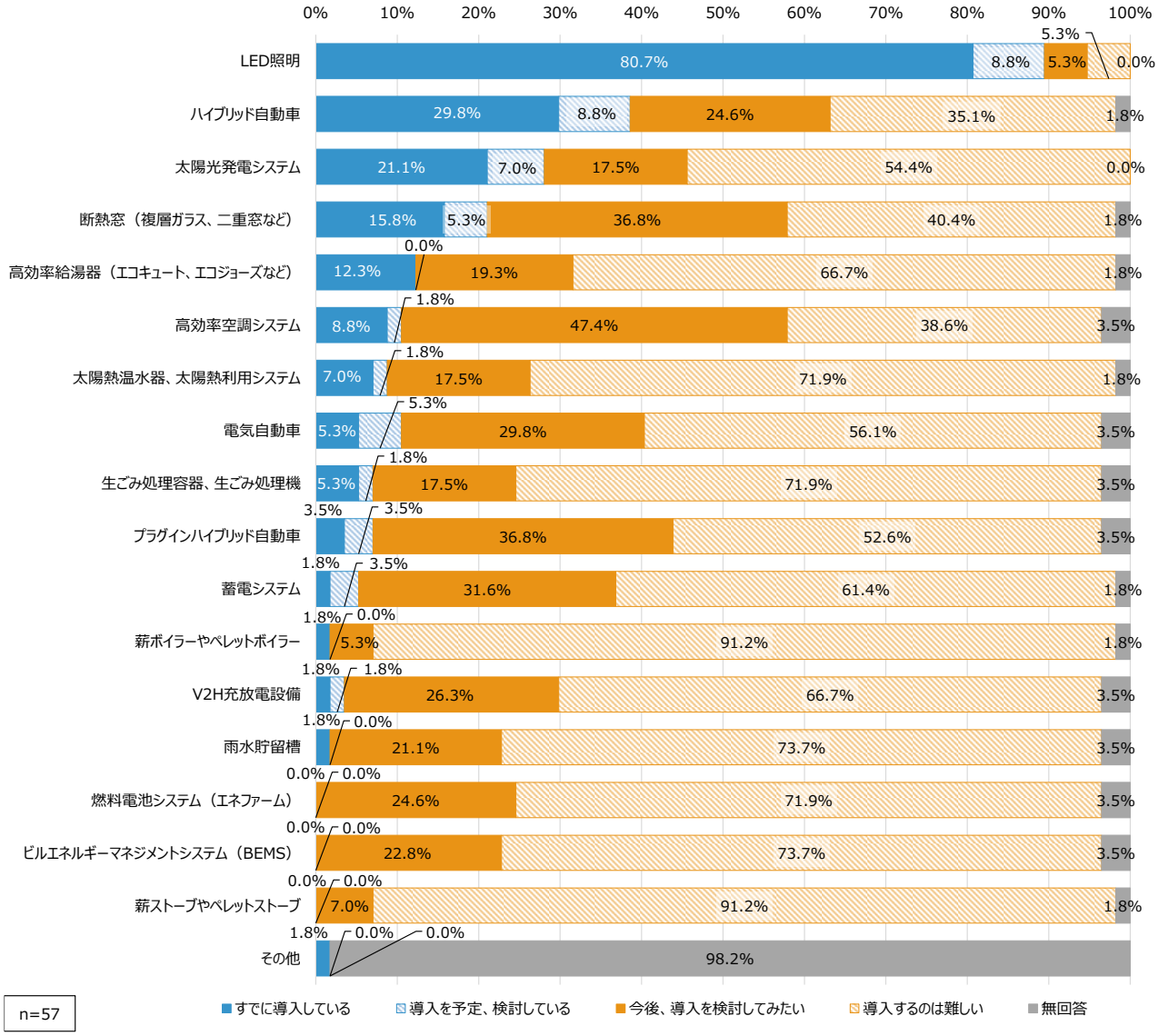
一方、「取り組む予定はない」と回答された取組は、「専門機関による省エネルギー診断などを受診して、設備改修を行っている」が 63.2%で最も多く、次いで「太陽光発電設備など、再生可能エネルギー設備を利用している」及び「従業員に、通勤や出張への公共交通機関の利用を奨励している」が 52.6%などとなっている。



問 9	貴事業所では、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備などを導入していますか。（各項目あてはまる番号１つに○）

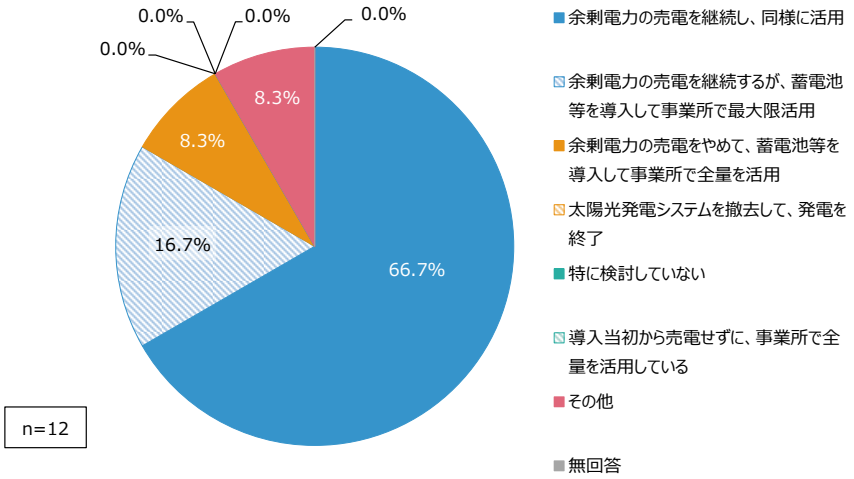
再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備などの導入状況については、「すでに導入している」と回答されたのは、「LED 照明」が 80.7%で最も多く、次いで「ハイブリッド自動車」が 29.8%、「太陽光発電システム」が 21.1%などとなっている。

また、「今後、導入を検討してみたい」と回答されたのは「高効率空調システム」が 47.4%で最も多く、次いで「断熱窓（複層ガラス、二重窓など）」及び「プラグインハイブリッド自動車」が 36.8%などとなっている。



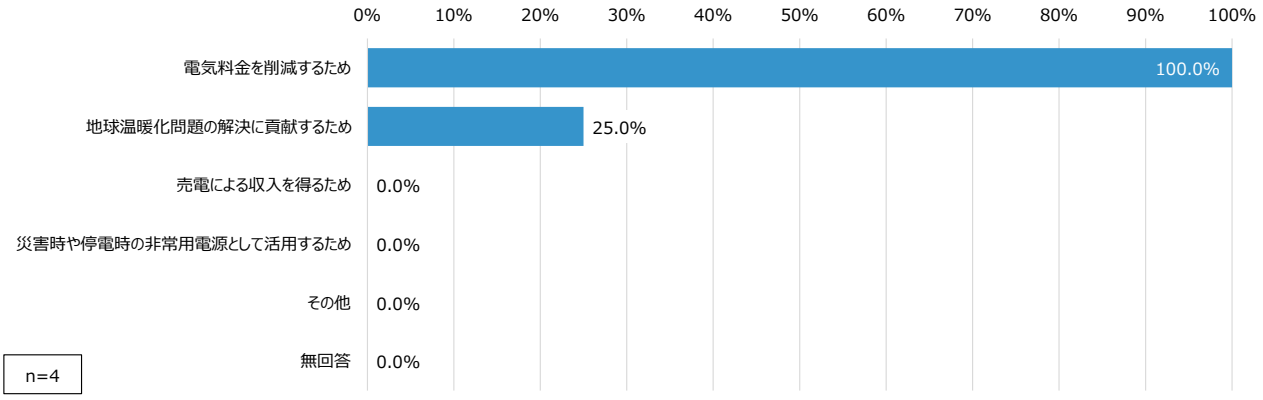
問 10	※問 9 で「太陽光発電システム」を「すでに導入している」と回答した事業所のみ 固定価格買取制度（FIT）の買取期間が終了した後、発電した電気をどのように活用されている、または活用される予定ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

固定価格買取制度（FIT）の買取期間終了後の電気の活用については、「余剰電力の売電を継続し、同様に活用」が 66.7%で最も多く、次いで「余剰電力の売電を継続するが、蓄電池等を導入して事業所で最大限活用」が 16.7%、「余剰電力の売電をやめて、蓄電池等を導入して事業所で全量を活用」及び「その他」が 8.3%などとなっている。



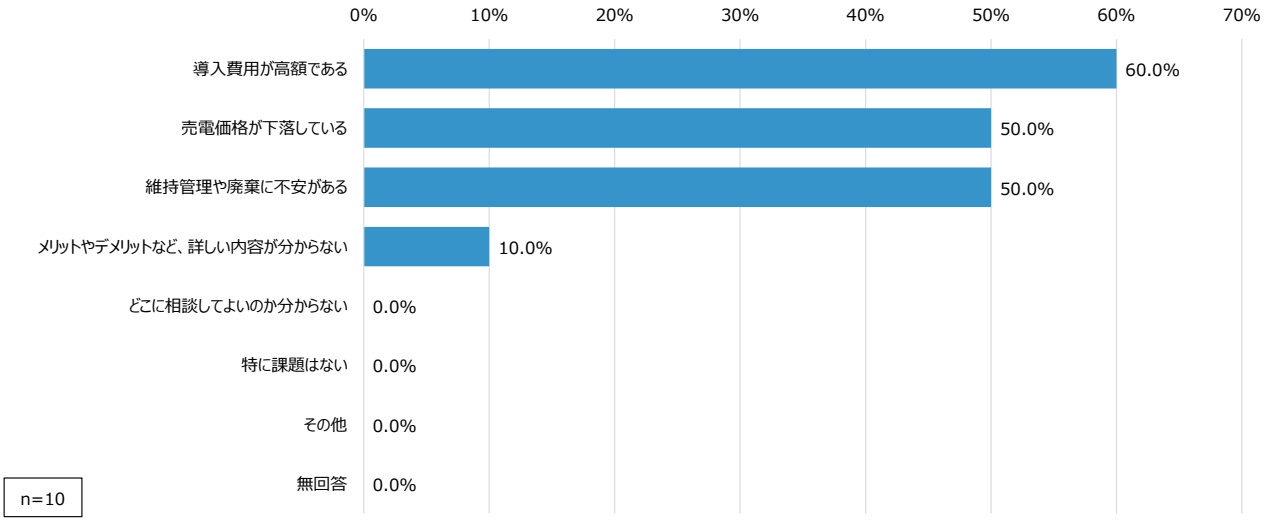
問 11	※問 9 で「太陽光発電システム」を「導入を予定、検討している」と回答した事業所のみ 導入を予定、検討されている理由は何ですか。（あてはまる番号 2 つまで○）

太陽光発電システムの導入を予定、検討している理由については、「電気料金を削減するため」が 100.0%で最も多く、次いで「地球温暖化問題の解決に貢献するため」が 25.0%などとなっている。



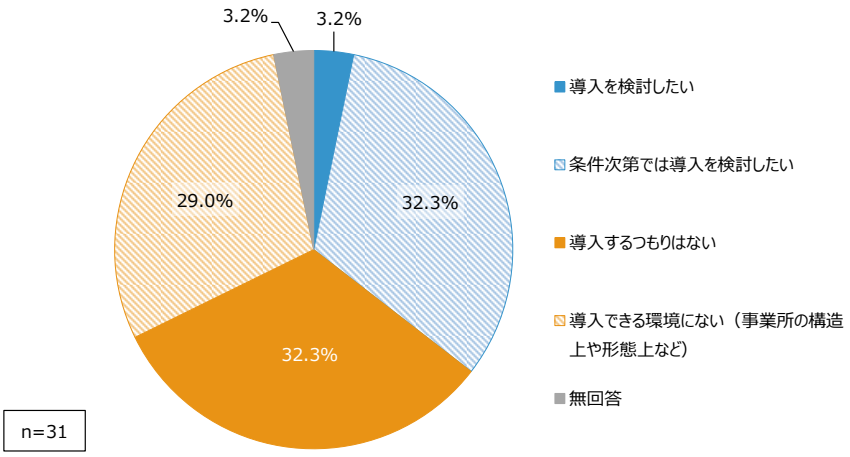
問 12	※問 9 で「太陽光発電システム」を「今後、導入を検討してみたい」と回答した事業所のみ 導入するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号 2 つまで○）

太陽光発電システムの導入における課題については、「導入費用が高額である」が 60.0%で最も多く、次いで「売電価格が下落している」及び「維持管理や廃棄に不安がある」が 50.0%などとなっている。



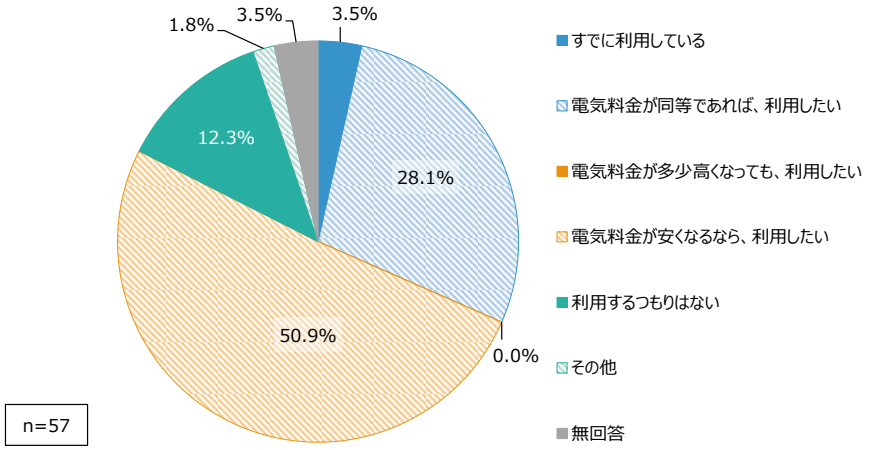
問 13	※問 9 で「太陽光発電システム」を「導入するのは難しい」と回答した事業所のみ 近年は、初期投資の費用負担ゼロで太陽光発電システムを導入できるサービス（PPA モデル）を提供している発電事業者もいます。同サービスは、発電事業者が太陽光発電システムを設置・維持管理し、その発電された電気を需要家（事業所等）に販売する仕組みです。 貴事業所は、同サービスを活用できれば、太陽光発電システムの導入を検討してみたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

PPA サービスを活用できる場合の太陽光発電システムの導入意向については、「条件次第では導入を検討したい」及び「導入するつもりはない」が 32.3%で最も多く、次いで「導入できる環境にない（事業所の構造上や形態上など）」が 29.0%などとなっている。



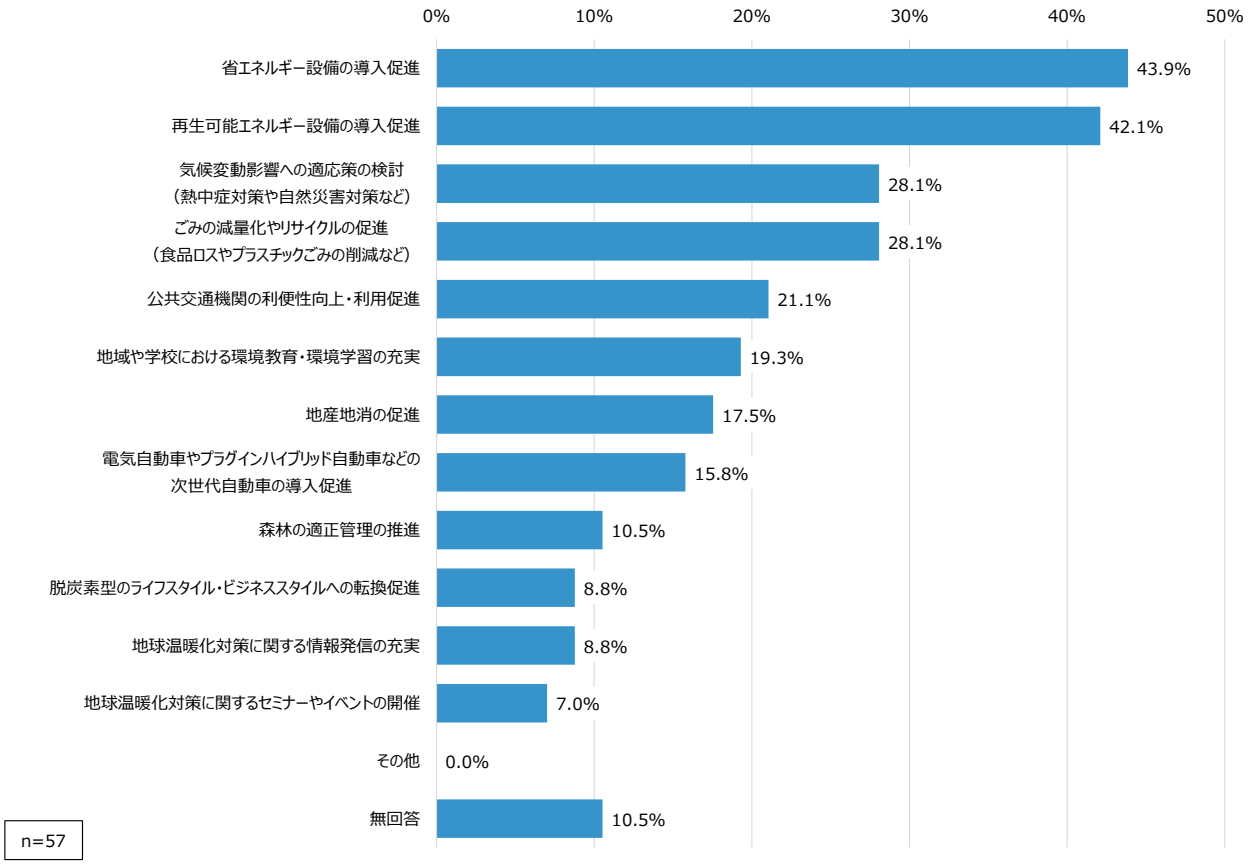
問 14	現在、一部の電力会社では、再生可能エネルギーによって作られた二酸化炭素排出ゼロの電力を供給するメニューが用意されています。こういった再生可能エネルギー由来の電力を利用することで、再生可能エネルギー設備を導入しなくても、地球温暖化問題の解決に貢献することができます。貴事業所は、再生可能エネルギー由来の電力を利用したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

再生可能エネルギー由来の電力の利用意向については、「電気料金が安くなるなら、利用したい」が 50.9%で最も多く、次いで「電気料金が同等であれば、利用したい」が 28.1%、「利用するつもりはない」が 12.3%などとなっている。



問 15	貴事業所が、すでに実施している、または実施予定がある地球温暖化対策（再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策の推進など）に関する取組で、善通寺市と連携・協働して実施したいものや、先駆的な事例として地域に PR したいものはありますか。

3 事業所から、実施している地球温暖化対策に関する取組内容や、善通寺市と連携・協働して実施したい取組内容等について回答があった。

問 16	貴事業所は、今後、善通寺市がカーボンニュートラルの実現に向けて、どのような地球温暖化対策を推進していくべきだと思いますか。（あてはまる番号 3 つまで○）

善通寺市が推進していくべき地球温暖化対策については、「省エネルギー設備の導入促進」が 43.9%で最も多く、次いで「再生可能エネルギー設備の導入促進」が 42.1%、「気候変動影響への適応策の検討（熱中症対策や自然災害対策など）」及び「ごみの減量化やリサイクルの促進（食品ロスやプラスチックごみの削減など）」が 28.1%などとなっている。